



▲安来レイダースは11人の選手が所属しています。平均身長148cmのチームです。

母里小自転車クラブ優勝

7月6日に行われた交通安全子供自転車島根県大会で、母里小学校の自転車クラブが9年ぶり10回目の優勝を果たしました。競技は、交通ルール等の出題がある学科と実技。実技では実際に自転車に乗って8の字走行や交差点での安全走行等を行い審査されます。

個人でも優勝した岩崎冬華リーダーは「練習の成果がでうれしい。全国大会では実技でミスのないようにしたい」と意気込みを話していました。



▶同自転車クラブは現在10人の児童が所属しています。

安来レイダース全国へ

全日本バレーボール小学生大会全国大会への出場が決まった安来レイダースの選手が7月25日、近藤市長に出場報告をしました。赤江小学校と荒島小学校の児童が所属する同チーム。全国の舞台へは2年ぶり7回目の出場です。

キャプテンの佐野太陽（荒島小6年）さんは「保護者や地域の人の支えには感謝しています。この気持ちを胸に、全国大会ではみんなで声を出し合って盛り上げて勝ち進んでいきたい」と決意を新たにしています。

全共・全ホルに向け協議会

安来市全共・全ホル出品対策協議会設立総会が7月17日、安来庁舎で行われました。

同協議会は、全国和牛能力共進会と全日本ホルスタイン共進会に市内から優秀な牛を出品し、優秀な成績を得る目的で設立。直近の平成32年度に宮崎県で開催される全ホルに向けては、県内で最も早い設立となりました。

総会では、優良牛を導入する際の経費補助やブランド化に向けた事業を行うことが決議されました。



▶吉田地区では64年ぶりのほ場整備になります。

吉田地区でほ場整備を起工

受益面積が45・5haとなる吉田地区ほ場整備事業の起工式が7月24日、現地で行われました。同事業は平成29年に国の補助事業に採択。同年に設計を行い、今年度から平成34年度にかけて工事が進められます。

起工式では近藤市長が「地元で農業法人を設立し、企業的な農業経営への転換と、食糧生産基地としての役割を担うことに期待しています」とあいさつ。今後は、大型機械の導入などで経営基盤の強化が図られます。



◀全共、全ホルはいずれも5年に1度行われます。